

Stand UP!

2016年3月29日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 38 編集責任者 情 宣 部

《主に盛り込まれたこと》

- ・ 集団的自衛権を認める
- ・ 自衛隊の活動範囲や、使用できる武器を拡大する
- ・ 有事の際に自衛隊を派遣するまでの国会議論の時間を短縮する
- ・ 在外邦人救出や米艦防護を可能になる
- ・ 武器使用基準を緩和
- ・ 上官に反抗した場合の処罰規定を追加

安全保障関連法施行

本当に国民の為？

昨年9月19日に強行採決・成立し、他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とする「安全保障関連法」が本日から施行となりました。本格的な運用は7月の参院選後との見方ですが、これで自衛隊は海外での武力行使が可能となり事実上「戦争」に参加してしまうこととなります。

不戦の誓いどこへ・・・

日本は過去、悲惨な戦争を起こしてきた過ちを反省し、憲法第9条において「武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」と、不戦の誓いを貫いてきました。安倍首相も「不戦の誓いを守り続ける。そして、国民の命と平和な暮らしを守り抜く」としていますが、自衛隊の命はどうでもいいのでしょうか？社会情勢的に理想論であるかもしれませんが、日本は日本の立場で武力を行使せず平和を訴えなければ、憎悪によるテロ、戦争の負の連鎖は断ち切れないのではないのでしょうか。そもそも自衛隊は難民支援などの平和活動で海外からの評価も高く、十分国際貢献を果たしています。

自分が自衛隊員だったらどう思うか

様々な意見があり、平和の為に安保法制は必要との意見もありますが、もし自分が戦場で銃を構える立場になったら・・・それでも賛成と言えるでしょうか？

「俺には関係無い」では済まされない!!
平和な社会の実現に向けて共に行動しよう!!